

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1 . 講 師 宮下 俊之 先生

北里大学大学院医療系研究科

分子遺伝学分野 教授

2 . 演 題 Gorlin 症候群の分子遺伝学

3 . 日 時 平成 2 4 年 1 2 月 2 0 日 (木)

1 8 時 0 0 分 ~ 2 0 時 0 0 分

4 . 場 所 7 号館 2 階 第 2 講義室

5 . 内 容

ヘッジホッグシグナル (Hh) 伝達経路は個体発生、発癌といった生理的、病的場面で重要な役割を果たす。Gorlin 症候群 (母斑基底細胞癌症候群) は Hh 伝達経路の異常亢進によって発症する小奇形と皮膚癌、歯原性腫瘍等を好発する遺伝病であり、Hh の受容体をコードする PTCH1 遺伝子の変異で発症する。今回は本症候群の本邦における疫学の特徴、遺伝子診断の問題点、責任遺伝子についての新たな知見を中心に解説したい。

連絡先 顎口腔外科学分野 小村 健 (内線 5506)